

### 年頭にあたって

あけましておめでとうございます。

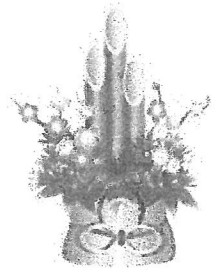
昨年は、予想外の結果となった米大統領選や韓国での大統領弾劾、さらに中東、スーダンなどの内戦により、世界が大きく揺れ動いています。

安倍政権はスーダンへの駆けつけ警護、原発再稼働や新たな高速炉の計画を進めています。そして TPP 協定、IR 法案、年金法案を強行採決によりゴリ押し可決させました。まさに「安倍政権は数の力でやりたい放題！」この様な横暴を決して許す事はできません。

会社はリニア建設に邁進し、社員の手当を抑え全てをリニアに注ぎ込もうとしています。その中で、組織破壊を狙った私たちの仲間へのボーナスカット攻撃は、この年末手当について「ゼロ」としました。これは、この間の裁判や労働審判での闘いの成果であります。さらに、現在係争中の本人訴訟も勝訴するために奮闘しようではありませんか。

昨年 10 月、組合員が怪我の治療のために通常の年休を申し込んで取得したにもかかわらず、診断書の提出を強要されました。この件で地本が申し入れた団体交渉の開催を拒否しました。さらに、東京都労働委員会の「あっせん」も受諾しませんでした。本部は、新幹線地本との団体交渉開催の拒否、都労委の「あっせん」拒否、会社の一方的な労働協約の解釈・運用に対して 12 月 19 日「団体交渉開催を求める申し入れ」を提出しま

した。労働組合を軽視する会社対応に抗議し、問題解決に向け奮闘しましょう。



職場では、効率化や労務管理がより強化されてきています。交検では管理者がしつこいくらいに点検と称して『あら探し』をしています。「自分は間違わない！」と言わんばかりです。是非とも一度でも手本を見せるべきです。

構内操縦ではヒューマンエラー防止のための『業務研究データ採り』と称し、ヘルメットにカメラを装着させられたり、社員同士での相互添乗が実施されています。

また、仕業では管理者が物陰に隠れて社員をチェックしています。

若手社員は QC やプロジェクトで遅くまで残され、月に何十時間も超勤をしています。帰りも遅くなり疲れも溜まり、嫌になると聞きます。それに嫌気がさして退職していった若手社員も少なくありません。これでは明るく楽しい活力のある職場など出来るはずがありません。

本年も『平和・人権・民主主義』を守るために奮闘しよう。そして JR 東海と関連会社の諸課題解決に向け、他労組や関連会社の仲間とも連帯し、分会一丸となって邁進しましょう！

その最先頭で奮闘します。

本年もよろしくお祈りします。

東京車両所分会執行委員会